



2026年5月14日

各位

セキ株式会社
 代表取締役社長 関 宏孝
 (STANDARD・コード 7857)
 問合せ先
 役職・氏名 執行役員 経営管理本部副本部長
 吉川 浩司
 TEL 089-945-0111

2026年3月期通期連結業績予想数値及び通期個別業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025年5月15日に公表しました2026年3月期（2025年4月1日より2026年3月31日まで）の通期連結業績予想数値ならびに通期個別業績予想数値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、これを公表することにつきまして、本日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

業績予想と実績値の差異

1. 2026年3月期通期連結業績予想数値と実績値の差異
 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	12,767	114	302	227	54円50銭
実績値 (B)	12,132	△65	189	256	60円74銭
増減額 (B-A)	△635	△179	△113	29	—
増減率 (%)	△5.0%	—	△37.4%	12.8%	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	12,302	224	452	280	67円32銭

2. 2026年3月期通期個別業績予想数値と実績値の差異
 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	9,654	222	183	43円93銭
実績値 (B)	9,193	189	279	67円19銭
増減額 (B-A)	△461	△33	96	—
増減率 (%)	△4.8%	△14.9%	52.5%	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	9,394	381	248	59円73銭

3. 差異が生じた理由

連結業績につきましては、カタログ販売関連事業において主要得意先でのサイバー攻撃を起因とするシステム障害により受注が減少したことや出版・広告代理関連事業での大口取引先での受注減少などにより売上高は予想数値を下回りました。利益面につきましては、売上が想定を下回ったことに加え、印刷関連事業において原材料価格の高騰などが影響し原価率が想定を上回って上昇したことや子会社の株式取得費用やのれんの償却費の計上などにより、予想数値を下回り営業損失となりました。一方で、株式市況の好調による配当金の増加により経常利益での予想数値から減少幅は縮小し、有価証券の売却により親会社株主に帰属する当期純利益は予想数値を上回りました。

個別業績につきましては、カタログ販売関連事業での受注減が大きな要因となり売上高が予想数値を下回りました。利益面につきましては、株式市況の好調により配当金が増加したものの印刷関連事業での原価率上昇により経常利益では予想数値を下回りましたが、有価証券の売却により当期純利益は予想数値を上回りました。

以上